



人類に  
奉仕する  
ロータリー

第 1223 回

2017年6月6日(火) 晴 第41回

～ ロータリー親睦活動月間 ～

齊 唱 君が代、我らの生業  
 出 席 会員 53 名 (出席率算入人数 43 名)  
 出席 38 名 出席率 88.37%  
 前々回補填率 90.24% (5 月 23 日分)  
 ゲスト NPO 法人 こどもハートクラブ  
 代表理事 小林 恵明さん  
 米山奨学生 張 佳宝さん

6月の誕生日

1日 木村 猛さん 15日 高橋 司さん

配偶者誕生日

13日 末永 有里さん

会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。先日、大垣にお見えになりますお客様とお話をして、大垣市でも100歳を迎えられた方にお祝い金を贈っているそうで、何名かお受け取りになったそうです。それを何に使いますかと聞くと、皆さま老後の為にとっておきますと言われるそうです。私も昨年の9月に65歳になりまして、敬老パスと年金をもらうようになりました。年金は遅くもらうようにすればもっと沢山もらえるという話なのですが、いつまで生きられるのか分からないので、65歳からもらえるようにしています。家内と話をしまして、勿論貯金もしなくてはいけないと思っておりますが、とりあえず日本の有名な旅館でまだ行った事のない所をまわろうという話になり、今、まわっております。それで少しでも日本の景気が良くなればと思っております。



6月度のガバナー月信に国際ロータリーのゾーンが変更になったという話がありました。皆さまご存じのように、ロータリーというのは2500地区から2840地区の34地区に分かれていて、2,287クラブ、87,719名が所属しております。その地区というのは県に相当する範囲なのですが、各34地区ありますので、ガバナーが日本で34名おります。またそれが全世界で34のゾーンに分かれておりまして、日本はそ

の地区によって第1ゾーンから第3ゾーンまで分かれております。その1ゾーンというのは、大体平均して35,000人で区切られておりまして、それを割って多少所属する地区を動かしたりしています。この2760地区というのは第2ゾーンに所属しております。今回第2ゾーンから一部の地区が第3ゾーンに移って、第1ゾーンから一部の地区が第2ゾーンに移って、第1ゾーンにバングラデシュ・インドネシア・パキスタンが所属するようになりました。それだけ日本の会員数が減っているという事だと思います。全世界で34のゾーンがあると言いましたが、34人のゾーンコーディネーターがおりまして、そのうち17名、2年交代で、全世界で偶数奇数のゾーンによってそれぞれ理事が選出されます。今年は第2ゾーンから豊田RCの斎藤直美さんが国際ロータリーの理事を務めておられます。それが全部合わさってRIという形になっております。会員数が日本も減ってきて寂しいので、やはり名南だけはなんとか盛り返せるようにお友達やお知り合いを誘っていただいて、1人でも会員が増えるように勧誘をお願い致します。

幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 5月分のニコボックスは例会4回分でした。合計218,000円で、現在本日を除いて1,863,500円と当初申し上げておりました目標の2,000,000円にかなり近くなって参りましたので、是非また皆さま方のご協力を宜しくお願い致します。
2. 次回6月13日(火)は第3回事前クラブ協議会です。17時30分からです。場所は51階マーキュリーの間ですので、お間違えのないよう宜しくお願い致します。

ニコボックス

◆ NPO法人こどもハートクラブ代表理事小林恵明さんの卓話です。よろしくお祈りします。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 加藤 英敏さん | 江松 央統さん | 森田敏二三さん |
| 筧 恵理さん  | 児島 徳和さん | 下村 徹嗣さん |
| 白藤 憲雄さん | 坂田 信子さん | 日下智重子さん |
| 東山 直史さん | 中村 勝さん  | 久米 伸治さん |
| 三浦 隆さん  | 入谷 直行さん | 加藤 宜之さん |
| 細井 俊男さん | 犬飼りさ枝さん | 安藤 修さん  |
| 神田 広一さん | 杉山 隆秀さん | 三島多恵子さん |
| 朝比美和子さん | 小野 雅之さん | 川瀬 悟さん  |
| 伊藤 圭一さん | 佐々木元彦さん | 牧野 好弘さん |

長尾 浅吉さん 木下 福郎さん 三浦 和人さん  
鈴木 清詞さん 田中 一雄さん 川辺 清次さん  
木村 猛さん 大橋さなえさん 中西 芳子さん

本日合計 52,000円 累計 1,915,500円

## アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

## 外部卓話

### ■卓話者ご紹介

川辺 清次さん

皆さま、こんばんは。小林さんをご紹介させていただきます。私は青少年奉仕委員長を仰せつかっておりまして、今月にずれ込んだのですが、実は先月の5月が青少年月間でした。小林さんとの出会いは昨年12月にローターアクトの例会に出席させていただいて、その時に小林さんが講師でありました。もう20年近く前になるかと思いますが、私共がいつも応援している有鄰学院でロータリーの100周年記念で、子供のミニチュアハウスと草を取って芝生を植え、中庭にビニールシートを敷いてみんなでカレーライスを食べた記憶がございます。その時に施設の方に聞いて一番衝撃的だったのが、実は幼児の時に虐待を受けると、精神的な障がいがあり、必ず学区の小学校には特別学級があるという事です。

名南RCはご存じのように、有鄰学院と那爛陀学苑に毎年何らかの援助をしているわけですが、小林さんの話を聞いていただくと為になるかなと思いましたが、推薦させていただきました。小林さん、宜しくお願い致します。

### ■NPO法人こどもハートクラブ

代表理事 小林 恵明さん

皆さま、こんばんは。本日はお招きいただきまして、誠にありがとうございます。皆さまの前でこうしてお話ができる事を、心よりうれしく思っております。まずは自己紹介をさせていただきます。特定非営利活動法人こどもハートクラブ代表理事の小林恵明と申します。恵明という名前は珍しいと思われるかもしれませんが、実は曹洞宗のお坊さんでありまして、19歳の時に出家致しました。それは簡単に言うと、世の中が嫌になってしまって人生を投げつけた事がありまして、それからお坊さんという事で今も僧侶であります。現在私は、このこどもハートクラブという団体の代表理事として、児童虐待防止活動を行い、募金活動をしています。愛知県には36の児童養護施設がございます。そこには約2,000人の子供達が、今日も親と離れて暮らしているのですが、その子達に何とか笑顔を取り戻してもらいたい、少しでも笑顔になっていただけたらと思いつつながら、私達は一生懸命活動しています。

私がどうしてこの団体を立ち上げたかと言いますと、2000年に2児置き去り事件がありました。子供が2人、部屋に2ヶ月間監禁されたような状態で親が帰らずに子供達が餓死したという事件です。元々その事件は愛知県の東区で、お母さんがホステスをやっていたのですが、ホストにはまってしまって、

そちらに心が行ってしまって、子供達の事をほったらかしにし、結局餓死させてしまいました。最後、胃の中におむつの残骸がたくさん入っていた、米櫃の米を一生懸命に食べた後があったという、本当に悲しい事件でした。私は自分自身が児童虐待を受けてきた当事者として、どうしても許せませんでした。そしてこの団体を平成24年に設立致しました。

児童虐待と申しますと、皆さまテレビやマスコミなどで子供が死んでしまった情報を聞いてから、「何とか助けてあげられたのに」や「気付いてあげられたら良かったのに」など、後で後悔の念をもたれる事が多いと思いますが、こういった事件は未然に防ぐ事が一番大事です。

まずは私達の団体がどんな事をしているのかという事を、簡単にDVDにまとめてあります。こちらは一昨年前、テレビ各局ごぞって取材に来ていただきまして、ドキュメンタリー番組を作っていただいたほどクローズアップされたものです。そちらをご覧いただき、私達の活動がどんなものかを知っていただきたいと思っております。

今、DVDを見ていただきましたが、こちらはNHKで放送されたものです。この中で何人か子供の顔が出てきたと思いますが、実は顔を出せる子供達というのはいつかお母さんが迎えに来てくれる子供達ではないのです。もう一生、児童養護施設で暮らさなくてはならない子供達は顔出しがNGではなくOKなのです。なので、今ビデオに映っていた子供達は18歳になるまで児童養護施設で暮らさなくてはなりません。本当にこれを見るたびに、私も心が痛い思いがします。

まず、私がどんな虐待に遭ってきたのか、どんな家庭に生まれてきたのかという事をお話させていただきます。私は3歳から12歳までの約10年間、実の父親から虐待を受けてきました。それはとても苦しくて、声すら上げる事も出来ない、本当に想像を絶するような生き地獄のような毎日でした。父は私の祖母の代から受け継いだ飲食店を営んでいたのですが、お昼のかき入れ時が終わると、レジのお金を鷲づかみにして、近所にあるパチンコ店に毎日走って行くような父親でした。それが本当に365日、ほとんど毎日です。勿論家計は火の車で、私の母は水商売、ホステスとして錦に働きに行く事になりました。私と妹を父親に預けて母親は一心不乱に働いたわけですが、母は父が毎日パチンコ店に行っている事は知りませんでした。それは私達がパチンコに行ったという事をずっと隠して頑張ってきたからです。夜11時頃、パチンコ店が閉店になる頃に父親が帰ってくるのですが、それまでずっとお腹をすかせて待っているような日々でした。父親は暴力的な人間で、パチンコ店から帰って来た父親の顔を見れば、今日儲かったのか負けたのかすぐ分かるような状態でした。帰って来てからご飯が始まるのですが、私達は机の上でご飯を食べた事はありません。本当にひどい日には、ご飯をわざわざ土間に落として犬のように食べるわけです。他にも、父親がパチンコで負けた時に、「今日どの歯がいい?」と言われました。皆さま、「今日どの歯がいい?」と言われてもピンと来ないかもしれませんが、子供ながらに痛くない歯を自分で選択して、まだ抜けそうになっていないグラグラではない歯を1本ずつペンチで抜いていくのです。そんな私の小さな子供の口は



真っ赤な血が滴る、そんな生活も送ってきました。

また、こんな事もありました。風呂を沸かすのを私が忘れてしまったのです。そんな日には風呂の蓋の上に私を正座させ、風呂が沸いてきた頃にジャンプをさせて、風呂の蓋が真っ二つに割れて熱湯の中に私が落ちるわけです。とても熱くて風呂からよじ登ろうと思うと、逆に滑ってまた風呂の中に落ちてしまう。私はそんな虐待を受けていました。勿論、その火傷は医者に連れて行ってもらうような事ありません。1人で近所に咲いていたアロエの葉を足中に貼って、タイツを履いて学校に行きました。

ではその虐待を母は気付かなかったのかと思うかもしれませんが、母は気付いていませんでした。どうして気付かなかったのか、1つは母も売れっ子のホステスとなり、こんな父親がいる家よりもホステスとして楽しい華やかな世界に身を埋める事がとても心地よかったです。子供の変化に気付く事が出来なかったのです。また、父親には暴力をしている、虐待をしているという認識がありません。児童虐待をしている人のほとんどが、この虐待をしているという認識がない事が一番駄目な事なのですが、私は母にその暴力の全てを言うと殺すと脅されていました。灯油をかけられ火を付けられそうになった事も何度もあります。私は本当に父の事を母には内緒で10年間ひっそりと耐えて暮らしていました。

またこのSOSは近所の人達には届かなかったのかというのはあります。私の友達のお母さんやご近所の方は、ほとんど私が虐待を受けている事を知っていました。知っていたのですが見て見ぬふりをしました。むしろ私の登下校の時に、「毎日うるさいから小さい声で泣いてくれる?」と言われた事もありますし、友達のお母さんには「虐待に遭っているような子供とは友達として遊んで欲しくないから遊びに来ないで」と言われた事も何度もありました。本当に辛い児童虐待、私は生きているのが本当に不思議なほどの体験をしたと思っています。

では、何故この虐待がやんだのかと言いますと、13歳の頃、私も多感で元気な中学生になりました。ある日、父親とご飯を食べていたのですが、いつものごとく机の下で私の足をガンガン蹴ってくるのです。私の足がセーラー服を着ていても足の甲が真っ黒になるほど毎日蹴られているので、ある日突然キレてしまったのです。食べていた味噌汁を初めて父親の頭にかけていました。その時の記憶は何故かけたのか分からなかったのですが、その時に何か心の糸がプツリと切れたのでしょうか。そこで私は自由を手に入れる事が出来ました。何故ならばその後、味噌汁の豆腐やわかめを頭じゅうにぶら下げた父親が裏から包丁を持って追いかけて回して来ましたが、私はそこから1週間家には帰りませんでした。警察に保護されて、児童虐待という事で私は家に帰ったわけですが、その時に初めて私は母親に今までの虐待の事、父親にされてきた事、お母さんへの思いなど全てを話す事が出来ました。そして、私の母はそれを本当に受け入れてくれて、今までのホステスの仕事を辞めてくれて、内職の仕事に切り替えて私を高校まで行かせてくれました。その後、実は私の児童虐待はやんで私は幸せを手に入れる事が出来たのですが、今度は母親へのDVが始まってしまったのです。本当に暴力をする人は変わらないという事です。今も母は67歳になりましたが、買物すら1人で

行く事が出来ません。父親の許可を得て、いいと言われない限りは外に出る事も出来ません。そんな状態のDVが続いています。本当に私は可哀想な人生だと思っています。

私が考える児童虐待についてお話を少しさせていただきたいと思います。今、全国で47,000人の子供が児童養護施設で暮らしています。愛知県では約2,000人とされていますが、47,000人と言うと岩倉市の総人口と同じ位の子供達が、今日も親と離れて寂しい思いをして暮らしています。愛知県には36の児童養護施設、ファミリーホームを入れますと2,000人もの子供が暮らしています。しかし、まだ児童養護施設に入っている子供達は本当に幸せなのです。というのは、私のように何も言えずにずっと水面下で耐えて、今日死ぬか明日死ぬか分からない子供達が、一番辛い思いをしているという事なのです。昨年は約100,000件の児童虐待の通報が全国に入りました。本当に今この時間も、日本のどこかでこういった虐待が行われているという事です。

私は苦しみがいつか解き放たれる事を待ちながら暮らしていましたが、本当に何とか皆さまにこういった事をきちんとお伝えして、皆さまに知っていただき通報というものにつながれば、私は自分が救われるような気がしてこの活動を続けています。本当に誰にでも虐待は行ってしまえる行為であります。子供のSOSをどうか聞いてあげて欲しいと思っています。今、全国の児童虐待は189、「いちはやく」という番号で、110番をかけるように189を押していただくと、児童虐待ホットラインに繋がります。もしかしたら虐待ではないかなでも構いません。匿名通報も出来ます。本当に通報してあげる事が救済です。それをどうか皆さま、していただけたらと思います。

最後になりましたが、私のこういう話を聞いて可哀想だな、辛かっただろうなというお気持ちやお怒りを感じていただけたかと思いますが、どうかそのお気持ちを怒りに変えていただいて、私達が助けるという気持ちになっていただけるといいと思います。2000年に児童虐待防止法が施行されました。その児童虐待防止法は、その通報が義務となりました。だから皆さま、見て見ぬふりをした大人にならないで欲しいと思います。私が感じた絶望感、見て見ぬふりをした大人達にならないように今後とも頑張ってやっていきたいと思っています。子供達にも人権があります。どうか私達大人と同じように子供達の人権もお守りください。本当にここにいらっしゃる名南RCの皆さま、有鄰学院をご支援なさっているという事で、私も何度か有鄰学院にお邪魔した事があります。本当に子供達はそんな状況にありながらも笑顔で、元気はつらつで今日も暮らしています。どうか皆さまと一緒にその子供達を救えるような社会を作っていけたらなと思っていますので、今後とも宜しくお願い致します。短い間でしたが、児童虐待の事を思ってくださいとお持ち帰りいただけたらと思っています。ありがとうございました。

第 1225 回例会 (6月20日) のご案内

IDM

於：料亭「か茂免」 18:30～

■ 6 月度理事会 議事録 ■

報告者 加藤 英敏さん

日時 2017年6月6日(火) 17:30～

場所 名古屋マリオットアソシアホテル  
17F『パイン』

出席者 木下、朝比、木村、入谷、細井、鈴木、  
加藤(宜)、加藤(英)、大橋、三島、  
三浦(和)、川辺、三浦(隆)、安藤修  
17名中14名参加

◎審議事項

一、再入会員承認の件

＜幹事 細井 俊男さん＞

再入会申込がありました。理事會にて否決。

◎協議事項

一、なし

◎報告事項

一、6 月度プログラムの件

＜会場運営・プログラム委員長 佐々木 暢さん＞

13日 クラブフォーラム 木下会長

20日 IDM